

東日本大震災7年

自分を、そして子どもを守る備えをしていますか

すくっぴーひろば



①柴山准教授から津波のメカニズムや、東日本大震災時の市内の被害の特徴などを、分かりやすく説明していただきました。②子育て家庭の非常時の備えについてのグループワークの様子③市内在住のイラストレーター・アベナオミさんの「一日一防災」のパネルなど④保存に優れ、かつ、おいしい非常食。(榊藤商事様、尾西食品様よりご提供いただきました。)

すくっぴー親子DE減災・防災 (減災市民会議 2018)

3月18日(日)、「すくっぴー親子DE減災・防災」がすくっぴーひろばで開催されました。

13組32人の親子が参加し、東北大学災害科学国際研究所の柴山明寛准教授を講師に、東日本大震災時の多賀城の被害の様子や、災害時に間違いがちな行動をクイズ形式で学びました。その後、非常時の備えをグループワークで確認、非常食の試食もしました。参加者からは、「子どもに関する避難のことなどを始めて知りました。」「子どもが生まれてから非常時の物品を全く備えていないので準備しようと思いました。」など、改めて、子育て家庭ならではの災害への備えを考える良いきっかけになっていたようでした。

鶴ヶ谷児童館



自分の命は自分で守ろう!! @鶴ヶ谷児童館

3月10日(土)、鶴ヶ谷児童館で「子ども防災事業 自分の命は自分で守ろう!!」が開催されました。“災害が起きた時に、自分たちでどのような行動を取れば良いのか”“持ち出し袋の中に何を置いていけば良いのか”をMIYAGI子どもネットワークの齋藤代表(アッキーさん)と一緒に考えたり、水に浸すと食べられるようになる餅やアレルギーがある人でも食べられるクッキーなどの非常食の試食をしたりして減災について学びました。

チーズを たのしく おいしく 手作り!



3月27日(水)、山王地区公民館で、雪印メグミルクの方を講師に、小学生14人が参加して「乳の食育」がありました。講師から、牛乳などに多く含まれるカルシウムが骨を強くしてくれること、「食べる」「活動する」「寝る」が健康な体づくりに必要なことなどをわかりやすくお話いただきました。その後のチーズ作りでは、温めた牛乳にレモン汁をいれて、カッターシ風チーズを作りました。試食では、手作りしたチーズの他、手作りの工程でできた「ホエイ」を飲んだり、市販のカッターシチーズと食べ比べてみたり。食のおいしさ、おもしろさを体感した講座でした。



soda+(そだつ)展しました!

3月5日(月)から13日(火)まで、市役所1階ロビーでsoda+(そだつ)展を開催しました。

来場された方は、soda+(そだつ)に掲載された子育てに関連する様々な行事の多さに驚いたり、子育て支援拠点施設のパネルに見入ったりしていました。

そだつ
soda+

soda+(そだつ)は、「多賀城で楽しく育つ」ための、子育て世代応援のための情報誌です。子育てママやパパ達と一緒に作り上げます。

soda+は、「soda」(育つ)と「t」(多賀城のt)を掛け合わせた言葉です。子どもが育つ、大人が育つ、だから、まちが育つ...をコンセプトに、これからも、素敵な情報発信をしていきます!